

リチウムイオン二次電池の事例に学ぶ 利益を生む大発明の秘訣

中小企業は新たな産業を創出し、雇用を生み出し、地域経済社会を担う、いわば日本経済の屋台骨を支える存在であり、大企業とも対等に渡り合い、存続・躍進していくために、知的財産の活用が必須であることは、もはや周知の事実です。

そこで、これから知財活動始める企業から、既に積極的に知財活動を行っている企業まで、中小企業の経営者、研究開発者、知財担当者等を対象に、知的財産制度の普及啓発を図り、知的財産の保護活用を促進するため、下記のセミナーを開催します。受講料は無料です。ぜひご参加ください。

参加無料 事前申込制
定員になり次第締切ります。



平成22年 **9月29日(水) 13:30~16:30** (受付 13:00~)

場所：諏訪商工会議所 5階 大会議室
長野県諏訪市小和田南14-7

定員：50名

今後のセミナー開催予定などは
こちらのモバイルサイトへ！



セミナープログラム

13:00~
13:30~

受付開始

セミナー「**リチウムイオン二次電池の事例に学ぶ
利益を生む大発明の秘訣**」

1. リチウムイオン二次電池の商品化と知的財産
 - 1-1 リチウムイオン二次電池の概要
 - 1-2 開発経緯と事業化に際しての事業戦略議論
 - 1-3 知財的観点から見たリチウムイオン二次電池技術
2. 利益を生む大発明の秘訣
 - 2-1 旭化成のリチウムイオン二次電池特許戦略の実態
 - 2-2 重要特許には二種類ある
 - 2-3 大発明を阻む三つの壁と克服の秘訣

講師：**吉野 彰** 氏 旭化成株式会社 吉野研究室長
旭化成イーマテリアルズ株式会社 電池材料事業開発室長

16:30

終了

※プログラムの内容は予告なく変更になる場合もございます。予めご了承ください。

講師紹介

吉野 彰 (よしの あきら) 氏

旭化成株式会社 吉野研究室長 / 旭化成イーマテリアルズ株式会社 電池材料事業開発室長

1972年3月 京都大学大学院工学研究科 石油化学専攻 修士課程修了。

同年4月、旭化成株式会社入社、主として機能性高分子等の研究開発業務に従事、1981年から新型二次電池の研究に着手し、1985年にリチウムイオン二次電池を発明。1992年に東芝との合弁会社、株式会社エイ・ティー・バッテリーの設立に携わり、リチウムイオン二次電池を事業化。

この業績に対し国内、国外の団体から多くの賞を受賞し、2004年度には紫綬褒章を受章。現在、旭化成フェロー。旭化成株式会社 吉野研究室長と旭化成イーマテリアルズ株式会社 電池材料事業開発室長を兼務。工学博士。

主催：広域関東圏知的財産戦略本部(関東経済産業局)・特許庁・長野県

共催：NPO 諏訪圏ものづくり推進機構

実施機関：社団法人発明協会長野県支部

お申込・お問合せ先

下記の申込書に必要事項を
ご記入の上、FAXかE-Mail
にてお申込みください。

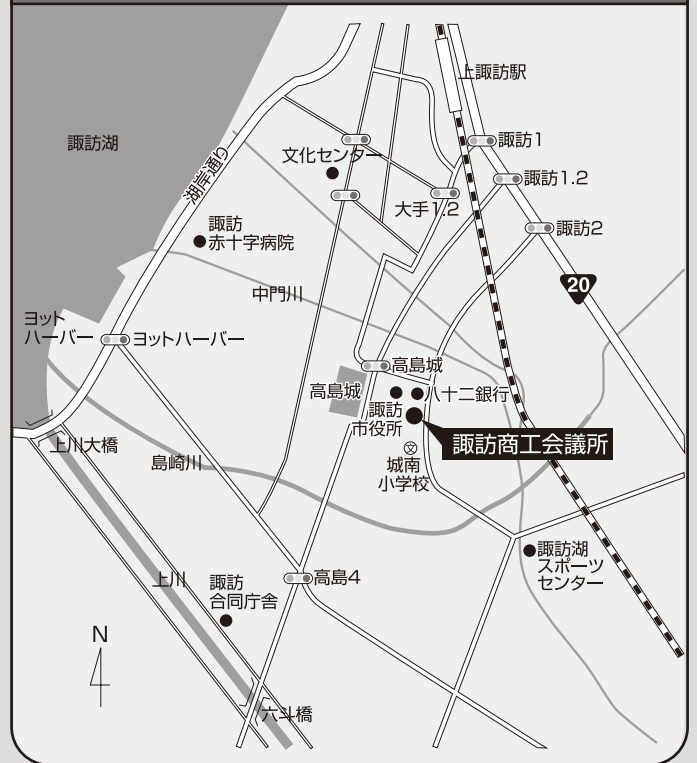
社団法人発明協会 長野県支部

TEL : 026-228-5559

FAX : 026-228-2958

E-mail : hatsumei@n-hatsumei.jp

会場案内図



参加申込書

平成 22 年 月 日

社団法人発明協会 長野県支部行

FAX : 026-228-2958

e-mail : hatsumei@n-hatsumei.jp

平成 22 年度中小・ベンチャー企業向け知的財産セミナー

～リチウムイオン二次電池の事例に学ぶ利益を生む大発明の秘訣～

開催日時 : 9月29日(水) 13:30 ~ 16:30 会場 : 諏訪商工会議所 5階 大会議室

貴社名				
電話番号		FAX 番号		E-mail
部署・役職名		フリガナ		
		氏名		
		フリガナ		
		氏名		
		フリガナ		
		氏名		

〔お願い事項〕 ◆原則として先着順とします。お申込受諾の連絡はいたしませんので、直接会場へお越しください。
ただし、申込者多数の場合には、長野県内の中小企業を優先させていただきますので、あらかじめ御了承ください。
参加をお断りする場合には事前にご連絡をいたします。
◆会場の駐車場は狭いので、公共交通機関をご利用ください。

※ご記入いただいた個人情報は、主催者において今回のセミナーにかかる事務処理、今後のセミナー等のご案内 (DM、メールマガジン等) 以外には利用いたしません。また、承諾なく第三者に提供することはありません。

リサイクル適性 (A)
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。